



2カ月に1度の訪問は奉仕活動に参加する美容師たちにとっても楽しみ



北の研美は昭和27年に創業、現在は札幌市内に3店舗を展開している

美容室

有限会社 ビューティサロン 北の研美

北区北16西3

福祉

■社員参加 ■技術提供



花育の一環として、東区の保育園にてジャガイモ植えをサポート

札幌を拠点に道内各地でフラワーショップを展開するフラワーショップいしざかは、平成22年に創業20周年を迎えました。この節目の年に「社会への恩返し」という気持ちを込めて独自に立ち上げたの

花き小売

**有限会社
フラワーショップいしざか**

東区中沼町

教育 ■人材活用 ■機会創出

花を通して地域コミュニティを元気に 創業20周年を機に独自の活動を始動

企画営業部の三船力さんは、今後の展開について「企業やNPOなどとも連携し、活動を発展させていきたい。各店舗でも企画を進め、人と人とのつながりを生むような新しい花屋の形をつくられたら」と話します。

が「FS（フラワーサポーター）運動」です。社員のボランティア活動であるFS運動では、花を用いた教育活動支援やフラワー教室の開催、まちづくりや観光におけるイベントへの協力などを実施。この運動により、花を通じた地域コミュニティの活性化を目指しています。



全道に約60店舗（アークスグループ店舗内）のフラワーショップを展開



人気の健康体操のほか、福祉施設や介護をテーマにした講座も好評

毎月第2土曜日に開催している「パウロにつこりクラブ」は、平成19年からスタートした地域住民対象の医療福祉公開講座。ドクターやナースが講師となって話をするほか、理学療法士の指導で健康

病院

**医療法人 中山会
新札幌パウロ病院**

厚別区厚別東

福祉 ■社員参加 ■技術提供

地域住民に向けた無料の医療福祉講座 体操や温泉を取り入れ、楽しめる内容に

「マンネリ化しないよう頭を使って」と話します。また、受講者に毎月足を運んでもらうため、スタンブカードを配布する仕組みも導入。1年間休まず参加した人には粗品をプレゼントするといった工夫もしています。

体操などを行っています。受講者は講座終了後、施設内にある温泉を利用できるという、うれしい特典も付いています。活動を継続するうえで最も苦心するのは「講座のテーマ選び」と種村洋一地域医療部副部長。長く続けるとネタに詰まることもあり、同じテーマでも切り口を変えるなど、



会場は病院に隣接するデイサービスセンターばうろ温泉の1階ホール

● 本業を活かす



平成22年秋に行われた料理教室の様子。この日はそば打ち体験を実施

札幌市の区役所などで食堂を経営している白石観光。利用者への恩返しを考えた布施正樹代表は、調理師や生産者と連携し、食育を目的とした「札幌市民と北海道の農水産物を食する会」を発足させま

区役所などの食堂経営

白石観光株式会社

厚別区上野幌

その他 ■その他

利用者への恩返しに 調理師や生産者と連携した食育活動



勉強会で講師の話に興味深く聞く参加者。講師は全道各地から招く

した。数カ月に1度、市民を対象に食に関する勉強会と料理教室を開催しています。

勉強会の内容は、健康をキーワードに栄養学から生産の背景まで幅広く、後日レシビとともに冊子にまとめ、参加者に郵送しています。また、レシビは区役所の食堂のメニューとしても活用。客に喜ばれるのみならず、スタッフの食の提供者としての意識や責任感も高まったそうです。布施代表は「講師の確保やテーマ探しなど苦労はあるが、参加者の喜ぶ顔を見るとやめられない。信じて続けるのみ」と熱意を見せます。

生ごみ再利用

花

育

大人向け食育

まちづくり

不動産業

丸栄寺田商事株式会社

北区篠路

環境保全 ■物品提供

**蔵書や不要本で私設図書館
近隣の住民に無料貸出**
引越越し現場で顧客から処理を依頼されること多い不要本と読書好きだった先代社長の蔵書を活かし、地域に何らかの貢献ができればとの思いで、社屋2階に私設図書館「寺田文庫」を開設。本業の宣伝チラシでも周知を図り、近隣の住民ら利用者に喜ばれています。



所蔵約5千冊はジャンル別に整理

広告代理店

株式会社 ヨミックス

中央区北4西4

福祉 ■社員参加 ■機会創出

**児童養護施設の子どもに
夏の思い出をプレゼント**
家庭の事情で夏休みに帰宅できない児童養護施設の子どもたちをルストリゾーに1泊2日で招待し、社員も引率者として思い出づくりに協力しています。38年間続くこの活動は、賛同する企業が読売新聞に広告を掲載し、その際に生じるヨミックスの収益を充て実施されています。



子どもたちから寄せられた感謝の手紙

まちづくり会社

株式会社 ノーザンクロス

中央区北1西5

環境保全 ■機会創出

**「サツポロ・ミツバチ・
プロジェクト」を展開**
環境指標生物であるミツバチとのふれあいを通じて都心の環境を見直し、都心の環境保全や魅力づくりを進める活動をまちづくりの一環として実施。
ビルの屋上を緑化しミツバチの生育環境を整えると同時に、はちみつなどを題材にしたイベントも開催しています。



子どもたちと一緒にビル屋上で採蜜体験



寄付に対する感謝状を受け取る
横山清代表取締役社長

北海道シジシー（北海道CGCグループ／道内スーパー11社加盟）は、昭和56年からチャリティーキャンペーン事業を実施してきました。また、周年記念事業で寄付を行うなど、継続的に社会貢献活動に

共同仕入機構

株式会社 北海道シジシー

豊平区平岸

その他

■資金提供

環境保全活動を推進するCGC基金設立 創業記念にさぼーとほっと基金にも寄付



石狩森林管理署と協定を結び、「北海道CGCの森づくり」に取り組む

取り組んでいます。

平成20年には「北海道CGCみどり」ところの基金」を設立。この取組は、同グループ加盟社がレジ袋販売金額全額を同基金へ寄付し、環境団体や研究機関などに対して助成を行なうものです。同基金の直轄事業として、支笏洞爺国立公園内の国有林において森づくりも進めています。

平成22年の創業30周年の際には、記念寄付先のひとつに札幌市の「さぼーとほっと基金」を選定。次代を担う子どもたちのためにとの思いから、子育てを支援する「CGCこども基金」を設置しました。

医療・介護

社会医療法人 禎心会

東区北47東17

福祉

■人材活用 ■機会創出



運営する新札幌恵愛会病院では職員が支笏湖周辺復興の森づくりに参加

社会医療法人禎心会では、「良質な医療、介護を通じて地域社会の繁栄に貢献する」という理念に基づき、社会貢献活動の一環として無料講演会を行っています。

講演案内はホームページに

病気に関する正しい知識などを伝える 無料講演会や「がんフォーラム」を実施



「がんフォーラム」では正しい知識や予防・治療法をわかりやすく説明

掲載。テーマや日程の調整がつけば、同法人の医師や医療スタッフが講師として出向き、医療情報を提供しています。少人数にも対応し、企業のか町内会や老人クラブなどからの依頼も多いそうです。平成21年からは一般市民向けの「がんフォーラム」を主催。「市民や地域の方の健康づくりの役に立てれば」という思いから、今後も活動を続けていきたいと考えています。

また、運営する病院やクリニックなどにおいても、環境に配慮した取組や乳がん・ピнкаリボン運動のイベントなどに参加しています。



社外の任意団体が開催している石狩浜のごみ拾い活動にも参加

IT技術者が社員の大半を占める北海道総合技術研究所では、社外に目を向ける機会を創出しようという代表の意向で、平成17年より、社内整備・活性化五カ年計画を開始。社員が「社内教育」「PR」

システム開発

株式会社 北海道総合技術研究所

中央区北10西24

その他

■社員参加

社外に目を向ける機会としてスタート 清掃活動に励むボランティアチーム

現在、社員全員参加を目指し、過去の活動内容を発表するなど、様々な仕掛けを試行中。また、ほかの活動にも挑戦したいとも考えています。

バーが毎回固定化しつつあるということですが。

「セキュリティ」「防災」「ボランティア」という5つのチームのいずれかに属し、成果を上げるという取組です。7名が在籍する「ボランティア」では、リングプルやエコキャップの収集、清掃活動を行っています。清掃活動時はほかの社員にもメールなどで声をかけ参加を募りませんが、今一番の悩みは参加メンバーが毎回固定化しつつある



これからもっと参加人数を増やしたいという会社周辺のごみ拾い

テレビ局

株式会社 テレビ北海道

中央区大通東6

子育て ■人材活用

**技術に裏付けされた表現力
TVhアナ「読み聞かせ隊」**

開局20周年を契機に、希望する保育園や幼稚園、学校を対象にしたアナウンサー読み聞かせボランティアを始めました。最初はノウハウのあるNPOに相乗りし、経験を積んだ後に単独活動を開始。プロならではの表現力が評判を呼び、口コミで依頼がくることもあるそうです。

大藤アナと丹羽アナによる読み聞かせ



幼稚園

学校法人 資生学園
つぼみ幼稚園

中央区南7西25

福祉 ■その他

**地域交流活動の一環として
園児が福祉施設を訪問**

地域との交流を大切に考えるつぼみ幼稚園では、敬老の日やクリスマスなどの行事に合わせて年4回、園児が介護老人福祉施設を訪問。踊りや歌、折り紙などを一緒に楽しんでいます。子どもたちの訪問は、あらかじめ施設の年間計画に加えられるほど、入所者たちに好評です。

園児の訪問は施設にも喜ばれている



保育園

社会福祉法人 藤美福祉会
菊水元町保育園

白石区菊水元町

子育て ■機会創出 ■技術提供

**開かれた保育園を目指して
人材と教材を地域に開放**

地域に開かれた保育園を目指し、月1回、保育園に通っていない未就学児とその保護者を対象に園を開放。在園児と一緒に保育する「子育てサロン」と「ちっ子」を開催しています。要望に応え、子育ての不安や悩みに関する相談も受付。常連の参加者も多く、好評を得ています。

保育士の下、いろいろな遊びを体験

